

## Fπ15 への参加報告

理学研究科理学専攻  
博士後期課程2年 高橋聡史

【渡航先】 ローリー, ノースカロライナ州, アメリカ合衆国

【開催期間】 2023年6月17日から6月21日

### 【概要】

Raleigh Convention Center にて開催された国際会議「15<sup>th</sup> International Symposium on Functional  $\pi$ -Electron Systems」は、有機エレクトロニクス分野で2番目に大きな国際会議であり、機能性 $\pi$ 電子系の特性やその応用展開について議論される。今回はこの国際会議に参加し、”Sulfur-Bridged Diazulenylmethyl Cations: Synthesis, Structures, and Carrier Transporting Properties” というタイトルでポスター発表を行った。

### 【所感】

これまで国際会議には2度参加しているが、COVID-19や昨今における国際情勢の不安による影響からオンライン参加を余儀なくされていたため、3度目にして初めて現地参加が叶った。トランジスタや太陽電池など応用展開を見据えた発表が多く理解が難しかった一方で、異分野の発表を聞く事は大変刺激的であり、各物性の評価方法等を興味深く聞くことができた。ポスター発表では多くの先生、学生の方と交流し、発表自体はスムーズに行うことができたが、異なる分野の研究者にその魅力を細部まで語るのは難しく、自分の英語力がまだまだ及ばないと感じた。英語ではなく化学の面白さを伝えることに意識を割けるよう、努力しようと思う。

現地参加の学会がようやく増えてきた中で、他大学の先生や学生と一緒に食事をする事で、新たに知り合うことができたのも大きな収穫のうちの一つであった。空き時間に訪れた Duke University では、重厚な装飾やステンドグラスで彩られた礼拝堂や、緑あふれる華やかな庭園などを堪能することができた。

このような貴重な経験をさせていただいた、名古屋大学卓越大学院プログラム：トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラムに深く感謝いたします。



左：Raleigh Convention Center, 右：Duke University Chapel